

山盲だより「むつぼし」第18号

発行 平成31年3月8日
山形県立山形盲学校

今年度のPTA活動

PTA会長

PTA活動は、今年度も皆様のご協力を得て、無事に終えることができました。少ない会員数での運営ではありますが、幼児児童生徒の成長を見守りつつ活動ができて良かったと思います。皆様に感謝申し上げます。

友遊自然塾では、幼児児童生徒、保護者、教職員が参加して芋煮会が開催されました。穏やかな天気にも恵まれ、みんなで楽しく会食することができました。

また、盲学校理解推進事業の「来て、見て、さわって、やってみて～体験！ 見えない、見えにくい世界～」が今年も行われ、多くの方々に参加していただきました。昨年に引き続き二回目の開催です。今後も事業が浸透していくことを願っています。

その事業の一環として点字ブロック理解推進事業に取り組みました。本校の幼児児童生徒、保護者、山形警察署、JR山形駅など、多くの方々のご協力をいただきながら、点字ブロックの理解を求めるチラシとティッシュを配りました。たくさんの方々に受け取っていただき、呼びかけることができました。

本校の幼児児童生徒数は、年々減少傾向にあります。地域、各関係機関の方々のご協力とご理解を得ながら、これからもみんなでPTA活動を盛り上げていきたいと思います。

第2回来て、見て、さわって、やってみて ～体験！ 見えない、見えにくい世界～

（魅力ある特別支援学校づくり事業）

期日：平成30年9月24日（月）

場所：霞城セントラル アトリウム

※イベントの様子を掲載。以下は写真のコメント。

- ・点字を書いてみよう
- ・点字と点図の世界
- ・マッサージでリラックス
- ・理科実験室
- ・3Dプリンターで作ってみよう
- ・盲導犬を知ろう

点字ブロック理解推進事業

期日：平成30年9月24日（月）

場所：JR山形駅

点字ブロック理解についてのチラシとティッシュを配りました。

※活動の様子を掲載。

友遊自然塾

期日：平成30年10月8日（月）

場所：山形盲学校グラウンド

学校のグラウンドで芋煮会をしました。子供たちも一生懸命材料を切ったり味見をしたりしながら、美味しく芋煮を食べました。（保体部長）

※活動の様子を掲載。

第42回県特別支援学校PTA連合会研修大会

期日：平成30年10月10日（水）

場所：山形県立酒田特別支援学校

研修大会に参加して様々な視点に触れることができ、とても良い経験になりました。

まずは、講師として招かれたFR教育臨床研究所の花輪敏男先生の全体講演会に参加しました。「一人一人が幸せに生きるために今取り組みたいこと」という演題で、子供に対する接し方を様々な角度からお話しされていました。親の立場から見るとどうしても焦りが出てしまいがちですが、答えありきではなく、一步一步の前進を大切にする必要性を強く感じました。

また、参加した分科会では、「卒業後の生活を考える～福祉、就労の立場から～」というテーマで話し合い、様々な問題点を挙げて情報交換を行いました。

来年度は、本校が特別支援学校PTA連合会研修大会の当番校です。皆様のご協力を得ながら準備を進めていきたいと考えています。よろしくお願い致します。（PTA会長）

PTA研修会

「見えない、見えにくさを補う補助具の申請や使用方法について」

講師：（株）トラストメディカル 小泉 大介氏

期日：平成31年1月18日（金）

場所：山形盲学校 大会議室

1月18日（金）、（株）トラストメディカル 小泉 大介さんを講師にお迎えし、第一回PTA研修会が行われました。補助具申請のノウハウや幼児児童生徒の見え方やニーズに合わせた使用方法について、丁寧な解説や助言をいただくことができました。今後の支援や生活に活かせることが多かったように感じます。

参加した保護者の皆さんからは、「見えにくさのイメージやスマホでの使い方を、資料だけでなく映像でも見ながら話を聞くことができて良かった。」「申請してからのことが分かり、勉強になった。」「実際、触れてみて興味がわいた。」などの感想が寄せられました。

※講演会の様子の写真を掲載。

後期の生活から

※生徒の活動の様子の写真を掲載、以下は写真のコメント

<中学部>

- ・「長寿園交流」入所者の方々と歌で交流しました。
- ・「裁判所見学」法服を着て裁判官を体験しました。

<高等部>

- ・「進路学習会」社会で自立して生活するために必要な力などについて学習しました。（普通科）
- ・「スペシャリスト講演会」県鍼灸マッサージ師会会長の講演を聞きました。（理療科）

<寄宿舎>

- ・「まったりカフェ」今年も好評につき実施しました。和やかな一時を思い思いに過ごしました。
- ・「クリスマス会」今年も聾学校と合同で行いました。心を込めてツリーを飾りました。

旅立ちを迎える生徒からのメッセージ

「14年間を振り返って」

高等部普通科 3年 男子生徒

僕は幼稚部から14年間、山盲で勉強しました。たくさんの思い出ができました。その中でも一番の思い出は、秋田での東北文体です。いい記録が出て、とてもうれしかったです。僕は楽しく学校生活を送ることができましたが、今まで大変なこともありました。でも、家族や先生や山盲生のみなさんが助けてくれたので、頑張ることができました。四月からは仕事を頑張ります。今まで本当にありがとうございました。

「一つ一つの積み重ね」

高等部保健医療科 3年 男子生徒

山形盲学校に入学して3年。とても充実した日々だったためか、長めに感じた3年間でした。自宅を離れての生活、学習への不安など、最初はとても緊張していました。そんな不安も、家族や生徒、先生方の支えがあり、ここまですることができました。また、これまでに辛い経験があり、それを自分で乗り越えることができたことで、今の自分があるのだと思います。山形盲学校の外には、楽しいこと、辛いことたくさんあります。在校生、特に盲学校に長く居る人程、今のうちに外の世界、社会を知っていて欲しいと感じます。どんな経験も必ず自分の力になります。一日一日を大事にこれからも過ごしていってください。3年間ありがとうございました。

山盲祭より

期日：平成30年10月20日（土）

場所：山形盲学校

※山盲祭の様子の写真を掲載。以下は写真のコメント。

- ・ 幼小学部ステージ発表 劇「しょうじょう寺のたぬきばやし」
- ・ 中学部ステージ発表 劇「三人の絆を大切に」
- ・ 高等部普通科ステージ発表「箏演奏と演舞」
- ・ 高等部理療科ステージ発表「健康体操」
- ・ 作品展示
- ・ 高等部普通科販売コーナー
- ・ 便利グッズ体験コーナー

編集後記

日頃よりPTA活動にご協力をいただき、感謝申し上げます。お陰様で「むつぼし第18号」を発行することができました。皆様、ありがとうございました。
(総務部長)